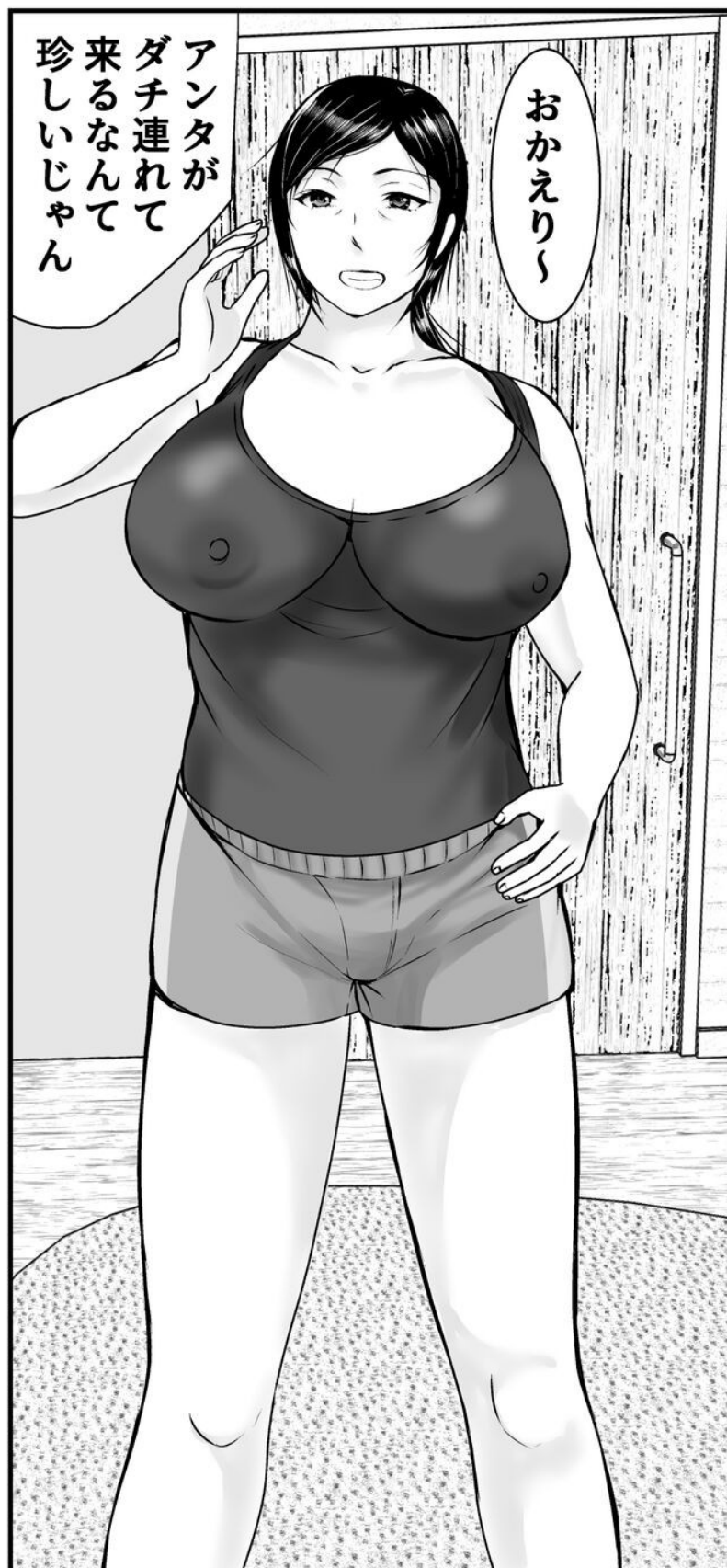


僕だけが知ってる

友達のお母さん



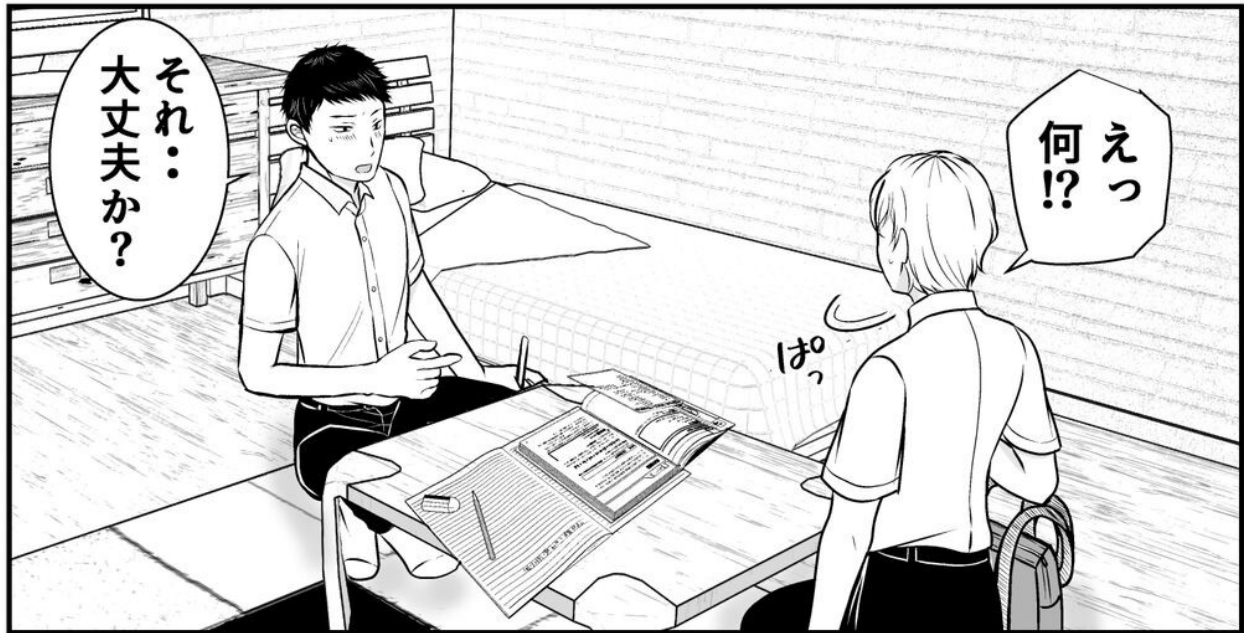












それから僕は：

頻繁に
久弥の家に遊びに
行く様になった

久弥の
お母さんに
会いたくて：

こ
こんにちわ

いらっしやい

ア
ア

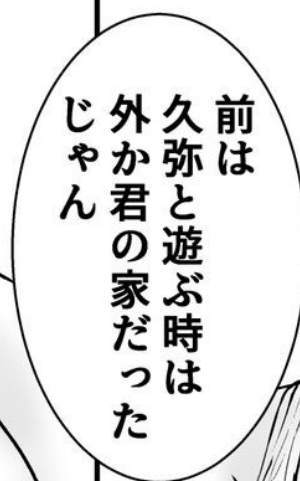
ア
ア

あのっ
久弥に忘れ物したから
先に行っててくれて
言われたので：あの

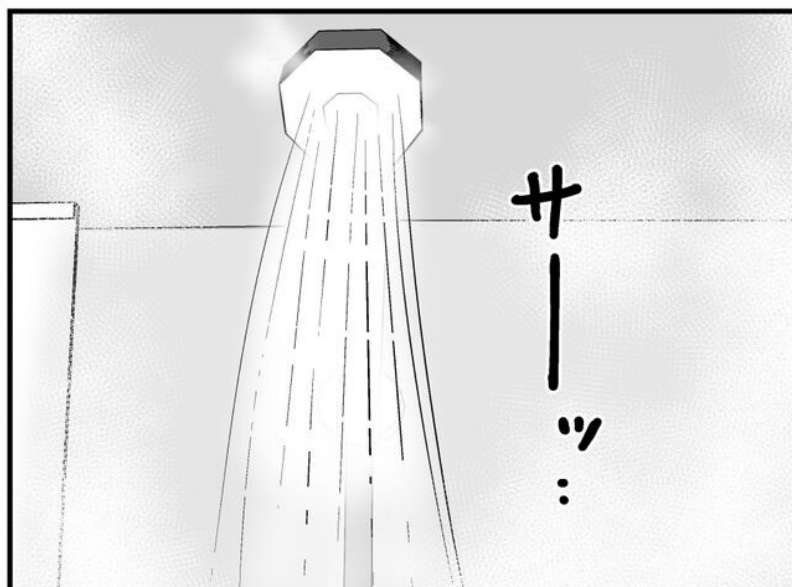
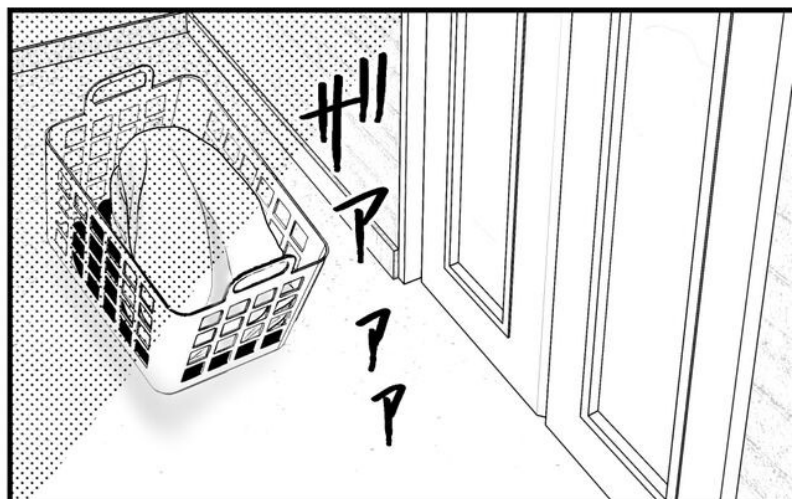
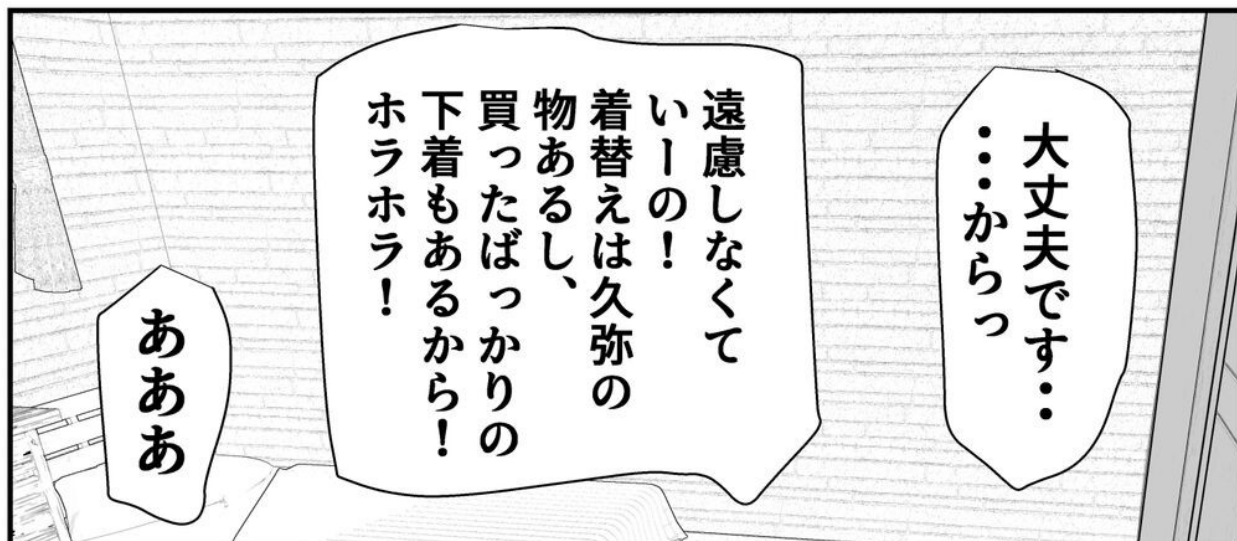
空君
最近よく家に
来てくれるね

はは
そんな緊張する様な
立派な家じゃないし
気楽にしな
ほら
入って入って

はい









本当に
僕ってダメダメ
だよなあ……

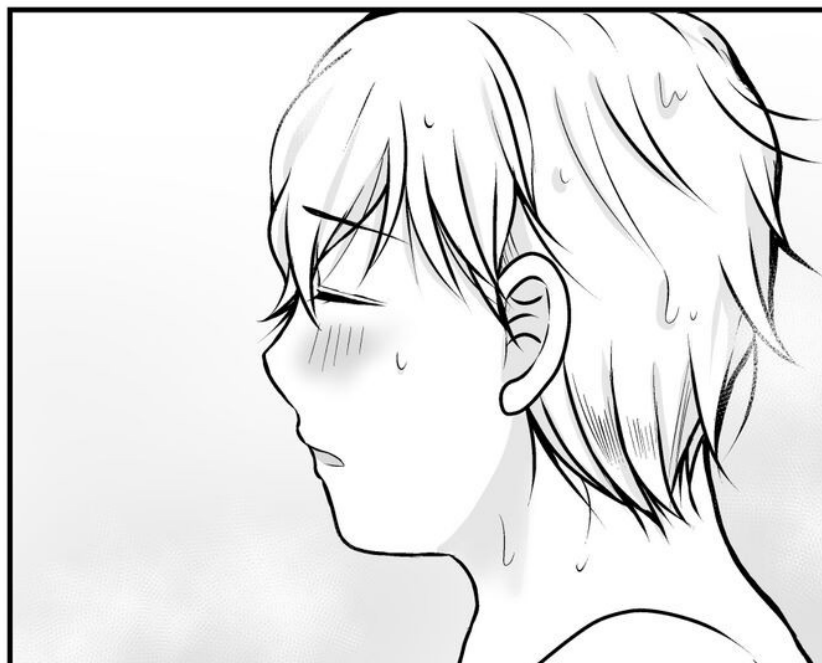


キュッ



ザッ

友人の
お母さんに
ドキドキしちゃって
慌てちゃって
迷惑かけて……



久弥のお母さんに
呆れられてるかも……

何が？







ただいまー

ビクッ

あれ？
母ちゃん：
こんな時間に風呂？

久弥!?

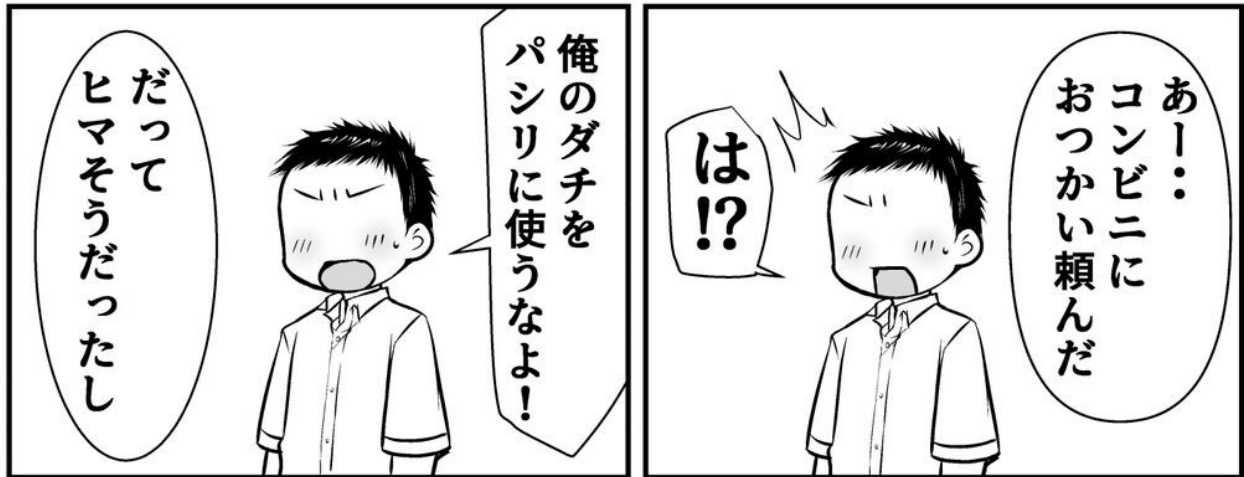
うん
ちよつと掃除してて
汗かいたからさー

珍しい
じゃん

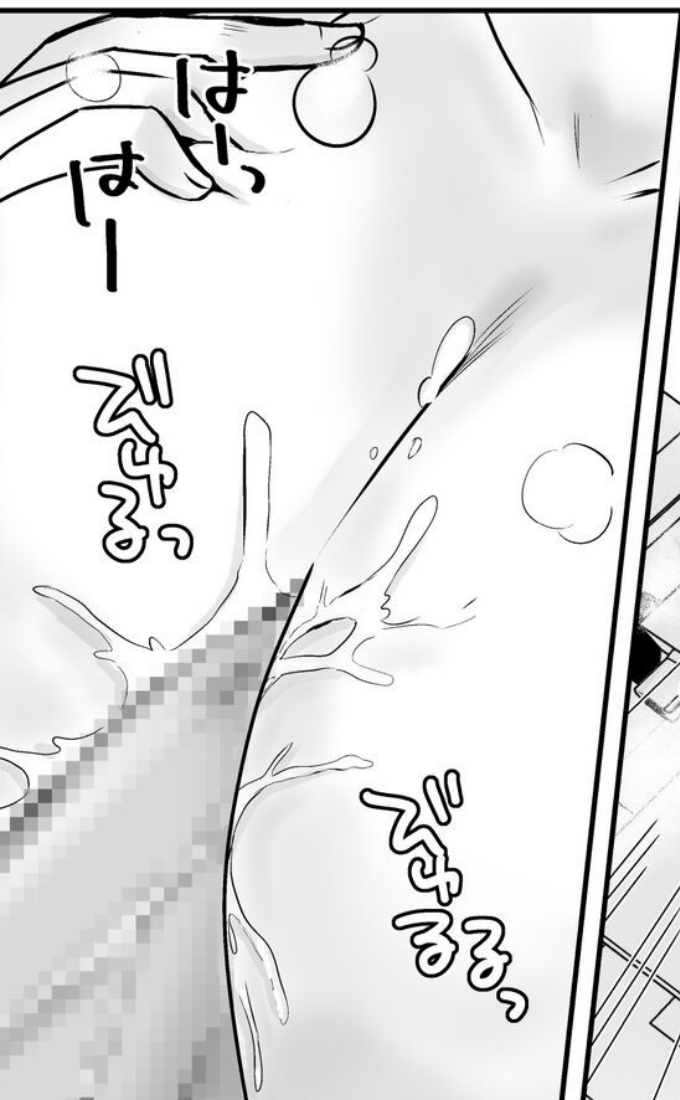
うるさい

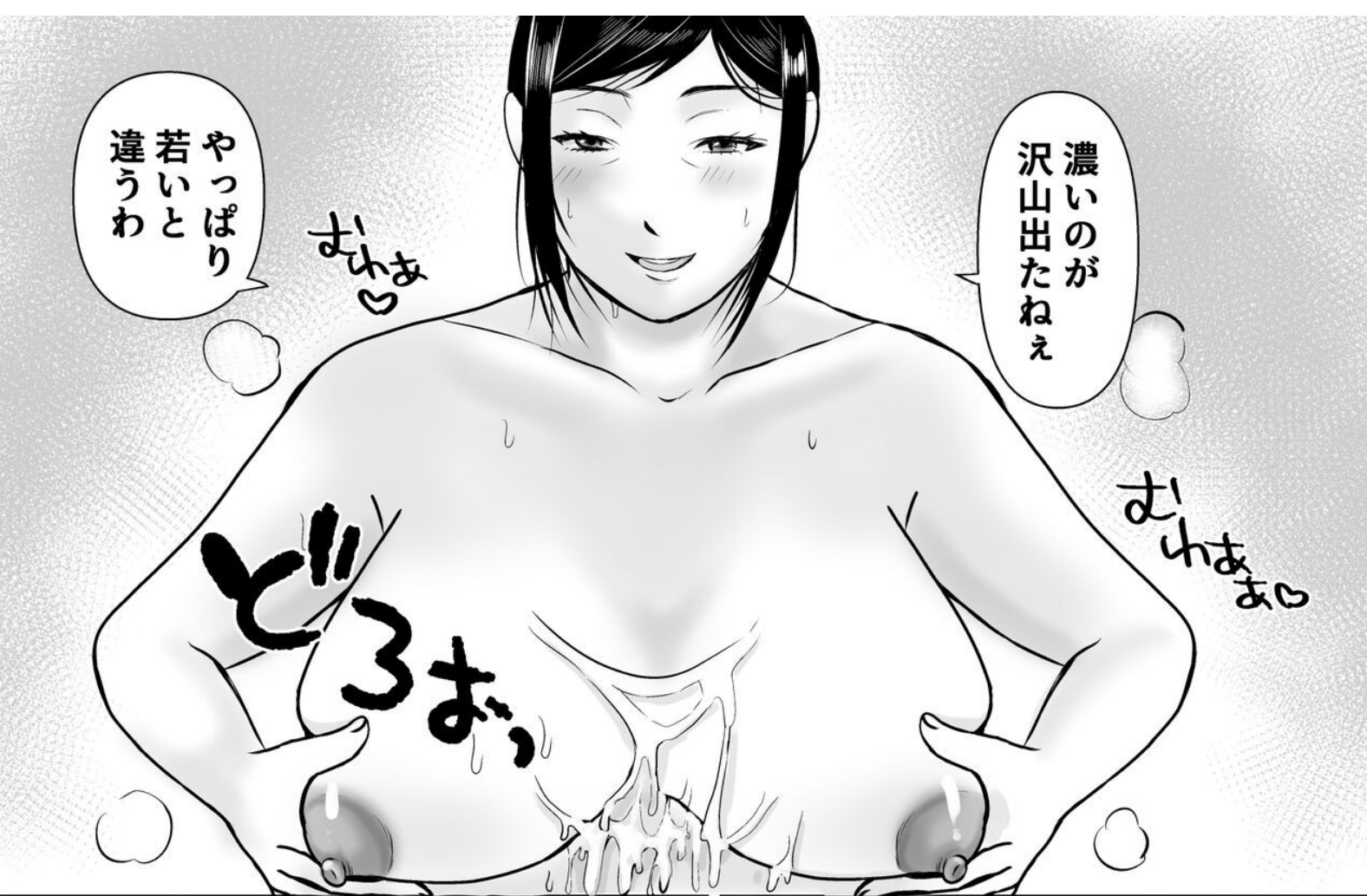
ところで
空は？
先に
行つてくれって
言ったのに
居ねーんだけど

うわっ……すぐそこに
久弥が……!!

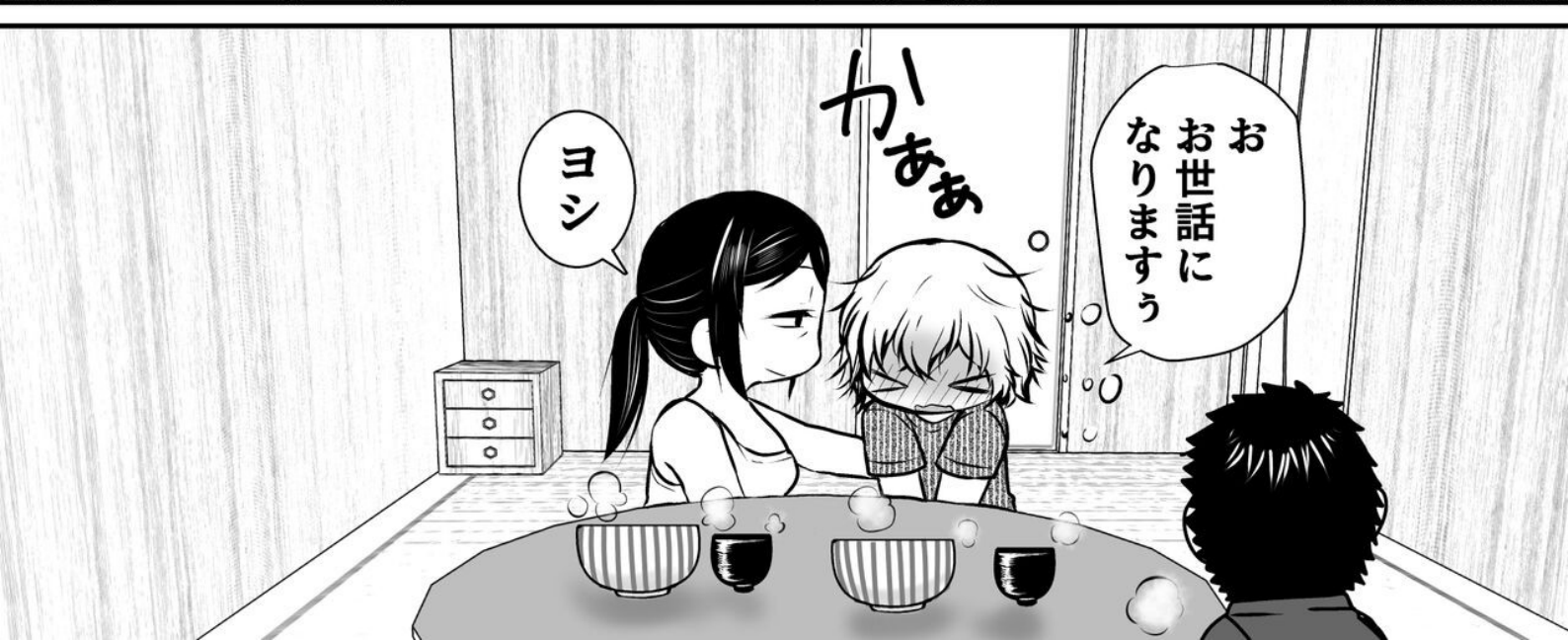
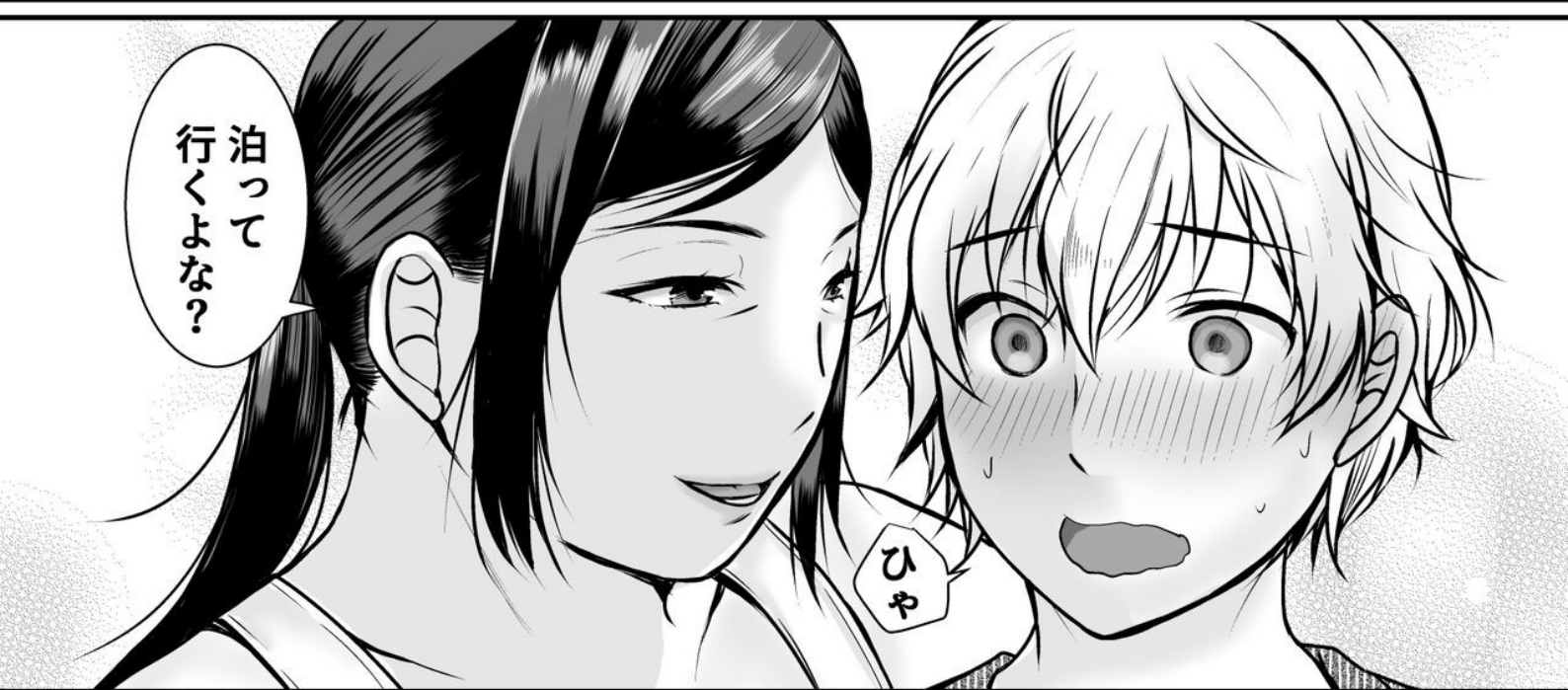












来ると
思ってた

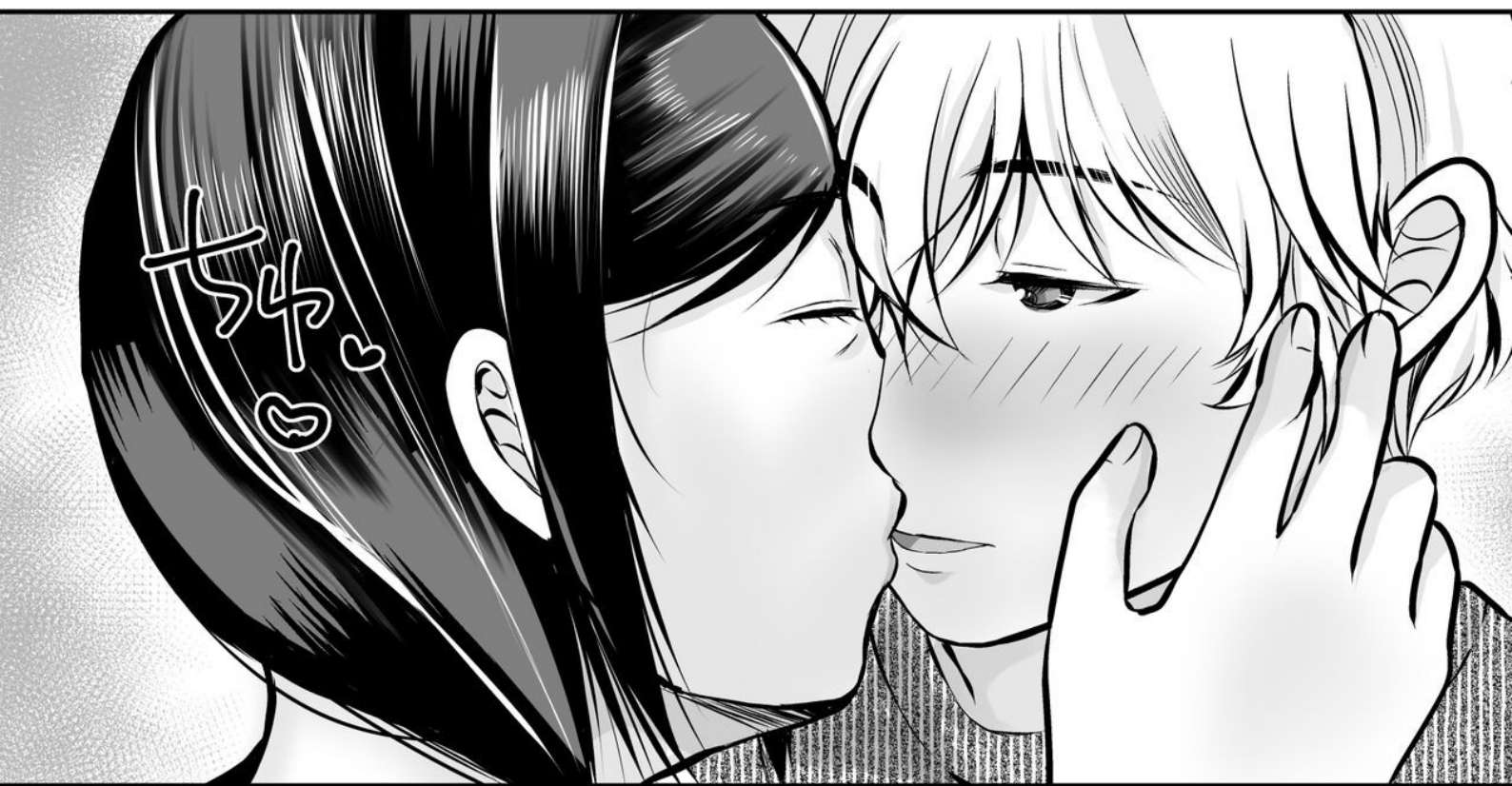
ニヤッ

スッ

おばさん……
僕：僕……

ふにゃっ

空君





ぬぎっ

ムチ♡
ムチ♡

おばさん:
その格好!?

はみ出した毛が
一段と
エッチだ...

こういうの
好きだろうと
思っ♡て♡♡

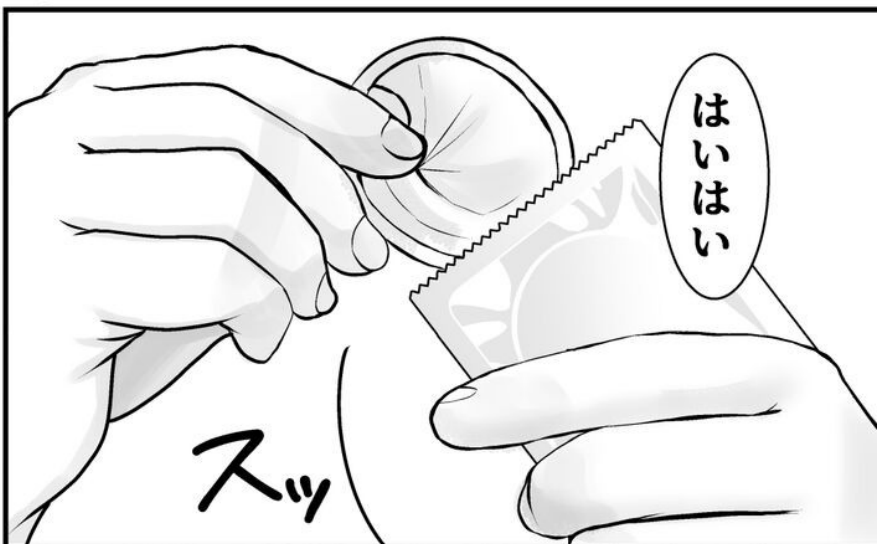
はあ

ふっ♡♡
はあ

ムチ♡
ムチ♡





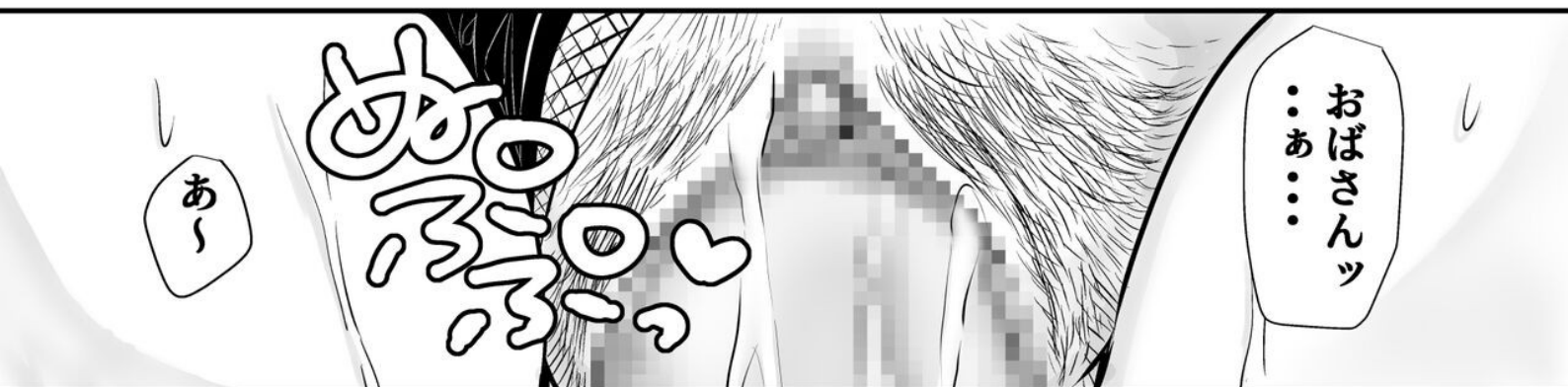




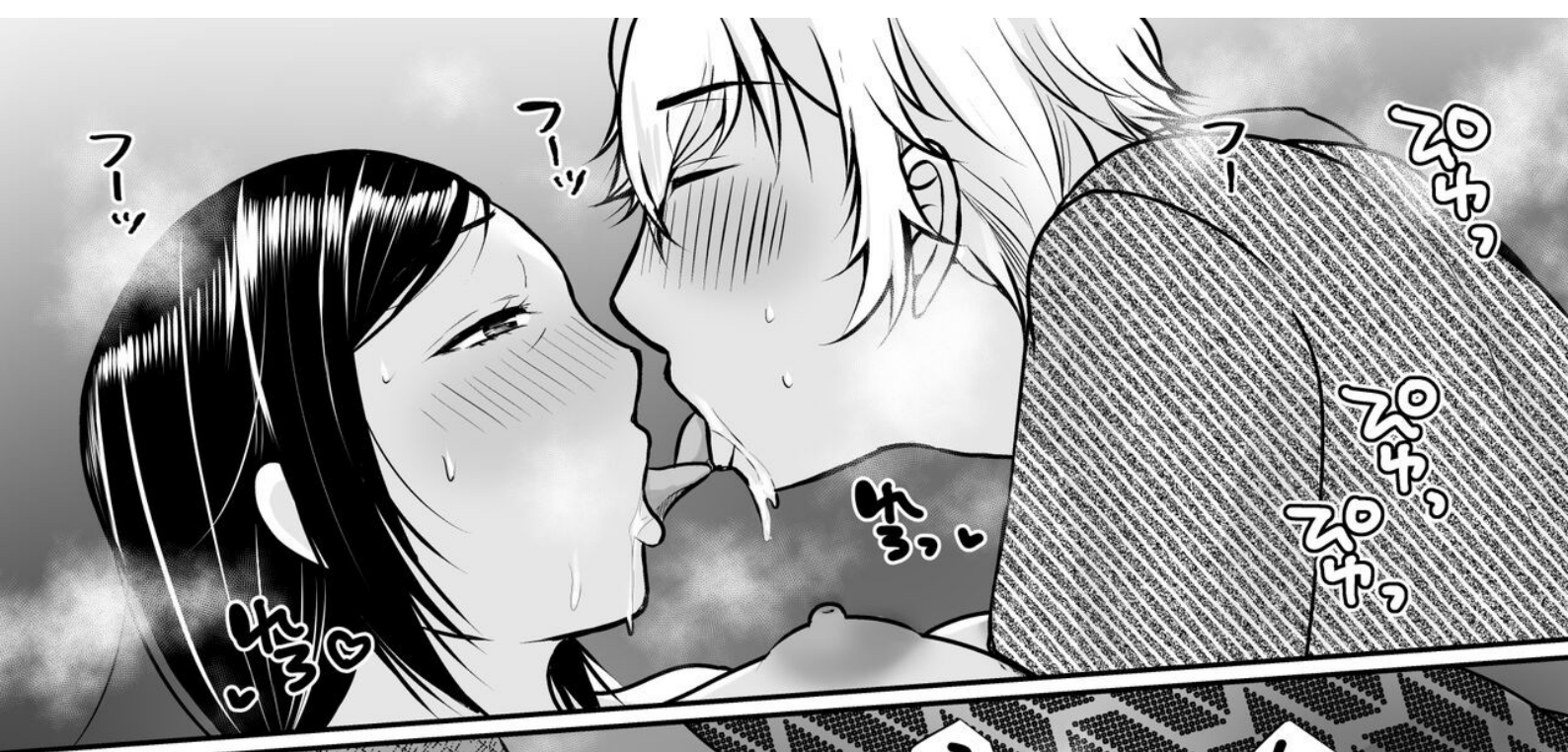
おいで...

いっしょ♡

いっしょ♡

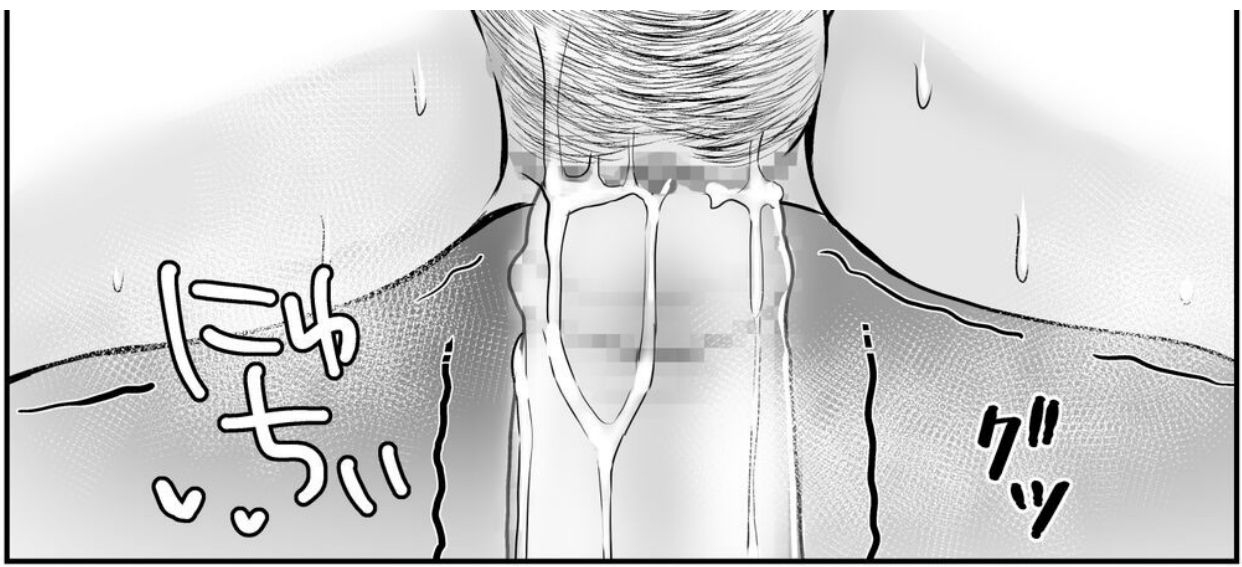


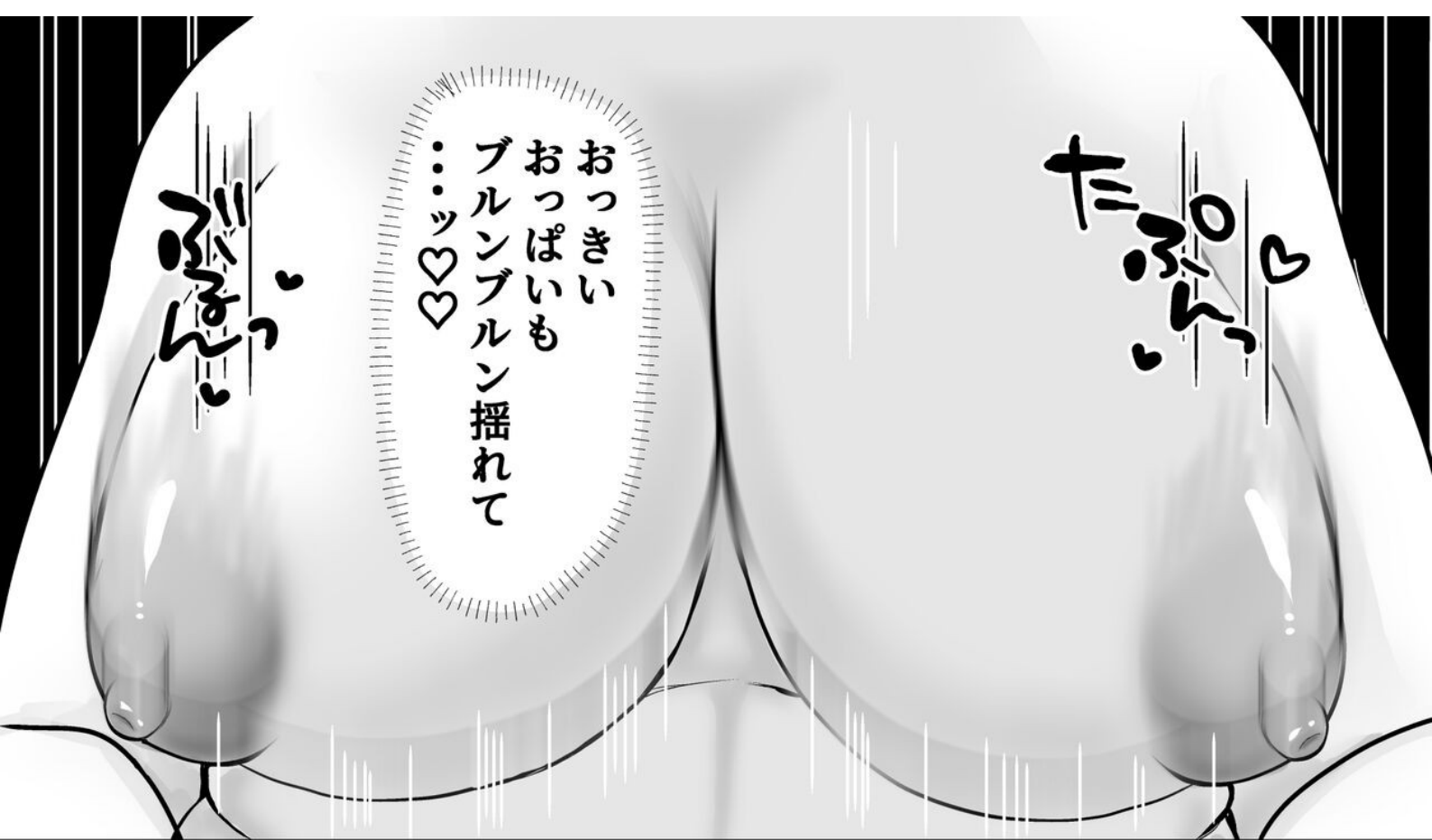












おつきい
おっぱいも
ブルンブルン揺れて
: : ッ♡♡♡

ふんっ

おんっ♡



いいっ♡
子宮に
当たってるう♡♡

エッチすぎる!!

めっさ

めっさ

めっさ

ふんっ♡

ふんっ♡

めっさ

めっさ

めっさ













出るっ…
僕のザーメン…
一滴残らず
おばさんの
子宮に出すッ

ん…
出してえ
アタシの中あ
空君でいっぱいに
してえ♡♡

ズルズル

ズルズル
ズルズル





彼女が
出来た!?

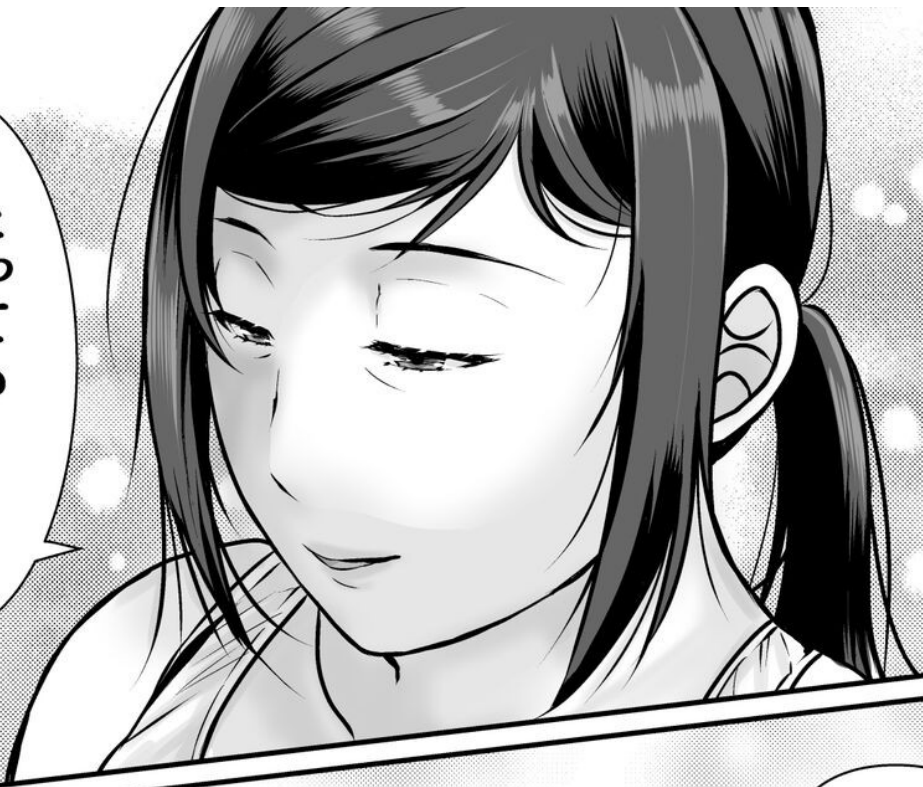
いつから!?
学校のヤツ?
俺も
知ってる子か?

えーと...

ふふ

ト

とっても
いい女だね〜



ね？
空君♡

はい！



何で
でしょうね〜？

は？
何で
母ちゃんが
答えるの？
空の
彼女
知ってるの？

